

マイ・タイムラインについて

- 昨年度に開催した第6回熊野川減災協議会（令和元年9月4日）では、国機関からの情報提供として『マイ・タイムラインの事例紹介（資料5-4-2）』を共有させて頂きましたが、令和2年6月26日には国土交通省より、新たに『マイ・タイムラインかんたん検討ガイド等について』が通知されました。
- 本通知では、マイ・タイムラインの更なる普及・啓発に向けて、『マイ・タイムラインかんたん検討ガイド』等が作成されたことを連絡するものであり、マイ・タイムラインの取組が一層進むように、あらためてマイ・タイムラインの取組内容等を追加させて頂きました。

※以下の資料を、事務局にて編集し、情報共有を行う。

- ・マイ・タイムラインかんたん検討ガイド（国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課水防企画室）
- ・マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方【～ワークショップ虎の巻～】（同上）
- ・マイ・タイムラインガイド【Ver.1.0】（マイ・タイムライン実践ポイントブック検討会）

「マイ・タイムライン」について

1. 背景

- 平成27年9月に発生した関東・東北豪雨では、多数の逃げ遅れや避難者の孤立が発生した。
- 自治体は、洪水ハザードマップの公表・配布、説明会の開催を進めているが、住民の理解度は低く、「我がごと」と感じていない。
- 水害の発生が切迫した状況下で、**住民自らの判断で避難行動に結びつく**ようにすることが必要である。



住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせ、いつ、何をするのかをあらかじめ時系列で整理した個人毎の防災行動計画である「マイ・タイムライン」を住民自らが作成する取組を進めていく必要がある。

2. 取組の経緯

平成27年9月 関東・東北豪雨

平成28年11月～ 「みんなでタイムラインプロジェクト」を始動
「鬼怒川・小貝川 減災対策協議会」

マイ・タイムラインの検討ツールを開発

- ・マイタイムラインノート
- ・逃げキッド

全国の自治体へ普及



「マイ・タイムライン」の検討について

3. マイ・タイムラインの検討手順

- 住民一人ひとりが洪水ハザードマップの記載内容を理解し、各々が置かれた状況に応じて自らの判断で避難行動につなげるために、以下の3段階の手順で検討を進める。
- 他者の意見等を参考に自分自身に置き換えて「気づく」こともあるため、ワークショップ形式による検討が推奨される。

STEP1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- 過去の洪水を知る
- 地形の特徴を知る
- 水害リスクを知る

STEP2 洪水時に得られる情報とタイムラインの考え方を知る

- 洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- タイムラインの考え方を知る
- 洪水時の自らの行動を想定する

STEP3 マイ・タイムラインを作成する

- 一人ひとりのタイムラインを作成する

知る 自分が住んでいる場所の洪水リスクを知る



考える いつ、どうやって逃げるかを考える



気づく 避難行動における課題に気づく人と話すことで気づく



国土交通省では「マイ・タイムライン」の更なる普及・啓発に向け、以下の資料を作成。

- ① マイ・タイムラインかんたん検討ガイド
- ② マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方【ワークショップ虎の巻】
- ③ マイ・タイムラインガイド【Ver.1.0】

掲載ページ



「マイ・タイムライン」の一例

茨城県常総市の住民が作成したマイタイムラインの一部抜粋（マイ・タイムラインガイド【Ver.1.0】より）

常総市 根新田地区 ○○家 鬼怒川マイ・タイムライン 作成年月日 2017年2月12日

時間	行政情報	住民等(例)	作成のポイント	手書きメモ
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電		
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 →洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。	雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期 旧前には Pre-Info 水位等の状況を把握に ○カセットコンロ・ガスの準備 (○ウェットティッシュ・テープも) ○コンタクト用品・薬の準備 ○移動型携帯充電器の準備 ○倉庫の固定と家周辺に飛ばされる物がないか確認 ○水・保存の食料の買い出しをする ○ガリリンを満タンにする ○子供の保育園の確認 ○携帯の充電 仕事のスケジュール確認 ○現金を準備しておく(貴重品等 運転・FPC等...) ○近所に連絡(移動場所 手段 伝えること(ひらか確認)) ○ガスの知人に避難させてほしい旨伝える (ひらか確認) ○川崎町の実家との避難場所・ルートの確認 ○携帯の充電 ○車に水を積みこむ: 荷物等も ○TV・ダイニングテーブルを2階に上げる (2階に移動できるものは移動する) ○近所への声かけ、応援 ○ボリタンクに水とためこむ